

とやまヘルスケアコンソーシアム キックオフシンポジウム

少子高齢化に伴う医療・介護負担が急増する中、健康やスポーツへの関心、健康寿命の延伸を背景にヘルスケア産業が急速に成長しています。富山県では、2018年10月にヘルスケア産業研究会を設立し、県内企業のヘルスケア産業参入を支援しています。

ヘルスケア産業研究会の設立から約1年が経過し、活動のステップアップを図るため、今回、産学官による「とやまヘルスケアコンソーシアム」を設立します。

ニーズやシーズ、リソースを基にした技術開発や情報交換等を図ることにより、新たなヘルスケア産業を創出するとともに県民の健康寿命延伸や介護予防等に寄与することを目指しています。



日時

2019年12月3日(火)13:30~15:20

会場

富山県民会館 バンケットホール(8階)

(富山市新総曲輪4-18 TEL:076-432-3111)

定員

100名 参加無料

プログラム

13:00~13:30 受付

13:30~13:35 挨拶

富山県知事 石井 隆一

13:35~15:20 講演

13:35~14:00 I 「生涯現役社会の実現に向けて」

経済産業省 商務・サービスグループヘルスケア産業課

総括補佐 おおたに そうし 大谷 壮史 氏

14:00~14:40 II 「長寿社会における高齢ドライバーのための

福祉車両の発展と展望」

株式会社本田技術研究所 オートモービルセンター

主任研究員 ごみ てつや 五味 哲也 氏

14:40~15:20 III 「ヘルスケアビジネスへの参入事例と事業化のポイント」

株式会社NTTデータ経営研究所 ライフ・バリュー・クリエイションユニット

マネージャー おおの こうじ 大野 孝司 氏

15:20

閉会

主催 富山県 共催 富山県新世紀産業機構

【お問い合わせ先】(公財)富山県新世紀産業機構 イノベーション推進センター ヘルスケア担当

〒933-0981 高岡市二上町150番地 富山県産業技術研究開発センター 技術開発館2階

TEL:0766-24-7112/FAX:0766-24-7122/担当:齊藤、長谷川 e-mail:m.hasegawa@tonio.or.jp

講師紹介

講演Ⅰ 「生涯現役社会の実現に向けて」
経済産業省商務・サービスグループヘルスケア産業課 総括補佐 大谷 壮史 氏



【プロフィール】
2006年経済産業省入省。主にエネルギー、金融分野における法案作成、災害対応、戦略策定、通商交渉プロセスに従事。その後官民交流制度を活用し通信インフラ企業に移籍。クラウド、ネットワークを活用した海外事業開発を担当し、ASEANでのIoTを活用した新規ビジネスの実証やデータセンター事業の海外展開を主導。2019年8月より経済産業省に復職。東京大学卒、カリフォルニア大学サンディエゴ校修了。

【講演要旨】
経済産業省では現在、誰もが人生を最期まで幸せに生きることができる生涯現役社会の構築に向けて、需要面から「健康経営」の普及推進、供給面から地域におけるヘルスケアサービスの創出支援及び継続的なヘルスケアサービスの品質評価を可能とする環境整備等に取り組んでいる。本講演では我が国の健康寿命等の現状、生涯現役社会の構築に向けて解決すべき課題と方向性、そしてヘルスケア産業の創出を目的とした支援策等について紹介する。

講演Ⅱ 「長寿社会における高齢ドライバーのための福祉車両の発展と展望」
株式会社本田技術研究所 オートモービルセンター 主任研究員 五味 哲也 氏



【プロフィール】
Honda四輪車体の設計及び先進技術開発に従事。近年は福祉車両に先進技術を適用する技術戦略を担当。長寿社会を前提とした福祉車両のあるべき姿を模索している。

【講演要旨】
弊社の福祉車両分野では、障がい者の自立を支援するために手動運転補助装置（テックマチック）や足動運転補助装置（フランチシステム）を上市してきた。今後は高齢者の自立支援のためにも新たな運転補助装置へ進化しなければならない。福祉車両の経験をもとに今後の長寿社会のモビリティを考える。

講演Ⅲ 「ヘルスケアビジネスへの参入事例と事業化のポイント」
株式会社NTTデータ経営研究所 ライフ・バリュー・クリエイションユニット マネージャー 大野 孝司 氏



【プロフィール】
サービス業における新規事業企画・開発、マーケティング、ヘルスケア事業のジョイントベンチャーの立ち上げなどを経て、現職。健康・予防領域を中心としたヘルスケアサービスの事業開発支援や産官学による研究開発・事業開発支援を行うほか、市町村における地域包括ケアシステムや地域マネジメントの支援、人材育成なども実施。

【講演要旨】
近年、ヘルスケアサービスの萌芽は見られるものの、国民がその恩恵を享受するためには、より多くの事業者が参入しビジネスを新たに創出していく必要がある。多数のヘルスケアビジネスの調査、事業開発支援の経験を踏まえ、ヘルスケアサービスの創出を目指す事業者に向けて、参入や事業化に向けたポイントを事例とともに解説する。

参加申込書

必要事項をご記入の上、11月29日(金)までにFAXまたはメールにてお申込み下さい。
Fax: 0766-24-7122 e-mail: m.hasegawa@tonio.or.jp
(事務局: 富山県新世紀産業機構イノベーション推進センター ヘルスケア担当)

会社・団体名		
TEL		FAX
氏 名	役 職	備 考